

令和2年度第4回富山県総合教育会議 議事録

1 日時 令和3年3月30日(火) 14:00～15:00

2 場所 富山県庁4階大会議室

3 出席者 富山県知事 新田 八朗

富山県教育委員会

教育長 伍嶋 二美男

委員 山崎 弘一

委員 町野 利道

委員 村上 美也子

委員 大西 ゆかり

委員 鳥海 清司

4 事務局出席者 政策監 蔵堀 祐一

理事・総合政策局次長 津田 康志

教育次長 清原 明宏

教育次長 坪池 宏

参事・企画調整室課長 朝倉 正

教育企画課長 松井 邦弘 他関係課職員数名

5 議事

第2期富山県教育大綱(案)について

6 会議の要旨

司会が開会を宣し、新田知事の挨拶後、富山県総合教育会議運営要領第3条の規定により、以後の議事については知事が進行した。

(新田知事)

・第2期富山県教育大綱(案)について、事務局から説明していただきたい。

〔 朝倉参事・企画調整室課長が資料1～資料4に基づいて、「第2期富山県教育大綱(案)について」説明した。 〕

(新田知事)

- ・事務局から説明があったが、委員の皆様から御意見を伺いたい。

(山崎委員)

- ・提出された教育大綱案について、本県の教育の実情と課題を考えたしっかりとした内容になっていると思う。この教育大綱に基づいて行われる取組みについて3点、意見を述べたいと思う。
- ・第一点目には、問題解決能力を育てることを目的として行われるプロジェクト学習について、地域や大学、行政、企業等と連携して行う実践体験型の学習活動を含め、プロジェクト学習が多くの学校で行われるよう期待する。
- ・二点目には、ICTを活用した教育の推進について、各学校の教育環境のデジタル化が一層進むことを期待したいと思う。また、デジタル教材の活用やデジタル教科書の使用など、ICTを活用した効果的な授業が広く行われ、教育の一層の充実が図られることを期待する。
- ・三つ目には、教員の働き方改革の推進について、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフなどの活用やICT活用による統合型校務支援システム導入など、教員の多忙化解消に向けた取組みを一層進めることが重要。また、それらの取組みを通し、働き方に関する意識改革が進められ、これまで当たり前のように行っている業務について、例えば、本来学校以外が担うべき業務や、必ずしも教師が担う必要のない業務は、取止めや実施方法の見直しを行っていき、さらに、教師の業務だが、負担軽減が可能な業務は、効率化を図るなどして、学校全体としての多忙化を着実に解消していただきたい。

(鳥海委員)

- ・大綱では、時代の変化とともに生まれてきた新しい用語や、人によって解釈が異なる用語、理解度が異なる用語が多数使用されている。それらの用語について、脚注を用いて説明しているのは大変良いことだと思う。

- ・来年度策定する教育振興基本計画では、施策自体が具体的なものになっていくため、様々な用語について共通の理解が得られるよう、具体的な記述となるようにお願いしたい。

(町野委員)

- ・教育大綱については、今回突っ込んだ話がたくさんできたと思っている。また、パブリックコメントも実施され、有識者をはじめ、数多くの県民の方々からの声を反映した大綱に仕上がったのではないかと思う。
- ・第2回の総合教育会議でも、ICT環境整備を進めるための専門の組織を教育委員会内に作る必要があると発言したが、来年度、教育委員会に「教育環境のデジタル化推進委員会」が設置され、また、ICT教育推進班が設置されることには大変意義があると思う。
- ・また、ICT化を統括する教育CIOやその補佐役、アドバイザーを新たに配置するということだが、学校現場と遊離してはならないので、学校の実情に精通している実務経験者や民間のICTの専門家を入れていただくことを提案していたが、それも実施する方向で動いていると聞いている。
- ・デジタル化推進事業については、多面にわたっているので、総花的にならないようにしてほしい。

(伍嶋教育長)

- ・第2期教育大綱については、これまで教育委員の皆様をはじめ、有識者委員の方々、パブコメをはじめとして県民の方々から、本当にたくさんのご意見をいただいた。一層の本県の教育の充実を目指して良い方針を示していただいたと思う。本当に感謝を申しあげたい。
- ・大綱に記載されている取組みの基本方向については、学校だけではなく、これまでも支えていただいている保護者の皆様、地域、企業等の関係の皆様と協働・連携をしながら取り組んでいくことが大事だと思う。また、具体的な取組みについては、市町村教育委員会と連携しながら進めていくことが何より大事だと思う。
- ・来年度は、この大綱に沿った教育振興基本計画を策定することになるが、引き続き、教育委員の方々にご指導をお願いしたい。

(新田知事)

- ・ありがとうございました。ここまでのご発言についてコメントさせていただく。
- ・山崎委員からは、プロジェクト学習について、またICTを活用した教育について、そして働き方改革について意見をいただいた。
- ・グローバル化や技術革新などが急速に進展する社会の中で、多様な価値観を持つ人々と連携、協働しながら、自らの可能性を發揮し未来を切り拓いていく力を育むことが大切。教育委員会には、この大綱を踏まえ、課題発見能力・課題解決能力の育成に向けたプロジェクト学習を推進し、多様な人々と協働し、社会の課題の解決策を創造するような学び「課題解決型の教育」を展開してもらいたい。
- ・ICTを活用し、児童生徒の知識及び技能の確実な習得とともに、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成を図ることが大切である。教育委員会には、この大綱を踏まえ、児童生徒一人一台タブレット端末の環境を活かして、教員が対面指導と家庭や地域社会と連携したオンライン教育を適切に組み合わせることで、協働的な学びを展開することができるよう、ICT教育に関する教員の指導力向上に努めてもらいたい。
- ・また、教員の多忙化を解消し、子どもと向き合いやすい環境を整えるとともに、新たな教育課題に応じた教育実践ができる教員を養成することが大切である。教育委員会には、教職員の意識改革の推進、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員等のさらなる外部人材の活用、また校務のICT等による業務の効率化を図り、教員の働き方改革や多忙化解消に向けた取組みをさらに進めてもらいたい。
- ・鳥海委員からは、教育振興基本計画にわかりやすい記述を、というご指摘をいただいた。
- ・この大綱に沿って、向こう5年間で、本県教育の様々な施策を効果的に推進するためには、市町村や学校、家庭、地域、企業等が連携・協働することが大変重要であることから、この大綱を広く県民の方に周知し、多くの県民の方々に理解していただくことが必要。このため、今回、新たに3つの横断的

な取組みや10の重要テーマを掲げ、今後の本県の教育行政の方向性をわかりやすく示すとともに、教育に関する専門用語については、できる限り脚注に示した。教育委員会には、来年度策定される教育振興基本計画でも適切に脚注を設けるなどして、県民にとってわかりやすい計画となるよう取り組んでもらいたい。

- ・町野委員からは、大綱全体について、また、ICT環境の整備についてご発言をいただいた。
- ・社会全体がデジタルトランスフォーメーションに取り組む中、学校においてもデジタル環境の整備やICT教育に取り組むことにより、児童生徒の力を最大限に引き出すとともに、業務の効率化など教育の負担軽減等を図っていくことが大切である。
- ・このため、教育委員会では、新年度において、教育CIOやアドバイザー等で構成する「教育環境のデジタル化推進委員会（仮称）」を設置して、タブレット端末の活用による対面指導と遠隔・オンライン教育による新しい教育様式の実践、校務支援システムの導入による教員の負担軽減などの課題について協議されることになる。
- ・また、教育CIOについては、まずは、ICT機器等の導入段階において授業等でのタブレット端末が十分に活用できるよう、学校の実情に精通している実務経験者の就任が適任であると考えられており、当面は、教育委員会の教員の教育次長を充て、その補佐役やアドバイザーとして、外部のデジタル人材やICT教育の学識経験者等を配置されると聞いている。
- ・伍嶋教育長の発言に関連して、来年度、教育委員会が策定する教育振興基本計画について、大綱の内容を踏まえた具体的な取組みを盛り込んでもらい、より実効性が高まるようにしてもらいたい。

(新田知事)

- ・それでは、地方教育行政法により、「大綱は、総合教育会議での協議を経て、地方公共団体の長が定める」とされており、今回、パブリックコメントを反映した形で大綱（案）をお示ししたが、この大綱案を第2期富山県

教育大綱として決定したいと思うが、よろしいか。

(特に異議なし)

- ・ありがとうございます。それでは、そのように処理をさせていただく。
- ・次に報告事項に移る。「教育環境のデジタル化推進事業等について」事務局から報告いただきたい。

〔松井教育企画課長が資料5に基づいて、「教育環境のデジタル化推進事業等について」説明した。〕

(新田知事)

- ・報告事項について、ご意見・ご質問等はないか。

(特に意見・質問等なし)

- ・この度、第2期の富山県教育大綱策定にあたり、これまで教育委員の皆様方には、ご専門の知識や経験に基づく貴重なご意見やご提言を頂きありがとうございました。今後とも、本県の教育行政を一層の充実・進化発展させていくため、引き続きご理解とご協力をお願いしたい。
- ・最後になるが、年度末ぎりぎりの開催になったにもかかわらず、ご賛同・出席いただいたこと、心からお礼を申し上げ、本日の総合教育会議を閉会する。ありがとうございました。